

一般質問

質 本市においては、昨年の東日本大震災における福島原発事故の放射能問題による風評被害で、観光産業に多大な影響を与えた。また、公共事業の減少により働く場がないといった声もあることから、本市の地域雇用実態の認識と対策について。

答 全体的に長引く景気低迷の中、非常に厳しい雇用状況となっている。若年者・中高年者に対しては、若年者等キャリアアカウンセリング試行事業などを活用し、積極的に支援を行っていく。



地域雇用対策について
村井 寿行

第1回定例会の主な議案の賛否状況 (挙手採決議案のみ掲載)

議案	賛成議員	反対議員	結果
登別市税条例の一部改正について	石山・上村 木村(俊)・工藤 佐藤・杉尾 辻・天神林 成田・二瓶 沼田・松山 村井・山口 山田・米田	佐々木 渡辺	可決
登別市介護保険条例の一部改正について			可決
平成24年度登別市一般会計予算について			可決
平成24年度登別市国民健康保険特別会計予算について			可決
平成24年度登別市介護保険特別会計予算について			可決
平成24年度登別市後期高齢者医療特別会計予算について			可決

質 新たな水源確保に向けた調査の現状と、今後の施設整備について。

答 自己水源水量の増量や非常時などのバックアップとなる新規水源の可能性調査を、平成22、23年度に河川表流水と湧水の観測、試験井戸の掘削をした。24年度も河川表流水の継続調査と試験井戸の季節による水質や水位の変動有無について観測を予定している。この調査結果を踏まえ、長期的な視点に立った水道施設の配置などコミュニケーションの上、基幹施設の整備計画を立案していきたい。



水道事業の将来展望について
成田 昭浩

質 本庁舎は耐震化調査で、1s値が低いことが明らかになったが、災害時において災害対策本部設置に適さないのでないか。また、市内の備蓄所は現在3カ所あるが、増設の考えは。

答 災害時に立ち上げる災害対策本部は、本庁舎以外でも設置できるように、あらかじめその場所を決めておく必要があると考える。高台もしくは一定の高さで耐震化されている施設を視野に適切な場所を検討したい。備蓄所の増設は、地理的条件を勘案し、住民と協議の上、増やしたい。



防災・災害対策について
米田 登美子

今回の予算は、各部署での枠配分方式を導入し担当部署の思いが伝わる予算計上という内容で、削減の成果と今回の方式でのインセンティブについて質問した。また、市政執行方針の重点テーマである「危機管理の強化」「見守る福祉の増進」「子どもの幸せを育む」「地域経済の振興」についてそれぞれ質問した。東日本大震災から一年がたち、想定外も想定しながら市長の一期目最後の執行方針を各項目で質問し、市民が安全で安心して暮らせ、人材が財であるという内容をたじた。



平成24年度予算と市政執行方針について
工藤 倶二雄

平成8年度に作成した長期総合計画には、将来のあるべき姿が、点描として65項目描かれており、各地域別土地利用計画も示されている。登別市が進むべき方向を、4千人を対象とした市民アンケートの結果を反映させながら作り上げたものである。今後、各地域の市民とのまちづくりに対する話し合いにおいて、長期総合計画のダイジェスト版を提供し、それをベースに具体的事項を話し合うべきと提案した。みどりの基本計画なども含めたものを作成し、提供したいとの答弁があった。



長期総合計画のダイジェスト版作成について
山口 賢治



不登校児童や引きこもり、ニート、新卒者の雇用実態について質問した。これらの課題は、一人の人生においてつながって発生する「社会の課題」でもある。個別の支援事業は存在するものの、あくまでも限定的、対症療法的な事業にとどまっていることを指摘した。「子ども・若者育成支援推進法」に基づく、支援地域協議会の設置を提案した。まずは、庁内各部署を中心とした協議体などの設置が検討されることとなった。そのほかには、学校給食の産地表示などを提案した。



若者を支援するまちづくりについて
辻 弘之